区制 50 周年特別企画

ホッとするまち「好きだよ、天白。」

まるごとてんぱく探訪シリーズ vol.2

地域に笑顔があふれるまちづくりを目指し、各学区における地域のつながりや地域独自の魅力をお届けします。

天白区を５つのエリアに分けて、該当エリアの区政協力委員長と区長の懇談の様子をお伝えします。

第２回目は、植田・植田南・植田北・植田東の４学区の皆さまです。

学区の見どころは何ですか？

（植田） 植田学区は神社や寺社もなく、また屈指の文教地区とは言えないけども、公立の幼・小・中・高校が揃っている学区です。また、植田南学区から続く桜並木が有名で、３月にはツツジ、５月にはサツキも綺麗に咲きます。

（植田南） 植田から続く桜並木はとても喜ばれるスポットで、桜のシーズンは車のスピードがいつもよりゆっくりになるくらいです。植田八幡宮には古墳があり、「ぐるっとウオーキング」と称して、古墳や植田城のことを地域の方が小学生たちに伝える活動をしています。あと、商店街が中心となり、夏祭りや植田公園のもみの木の点灯式といった大きなイベントを開催して皆さんが楽しんでみえます。

（植田北） 植田北学区は、見どころというものはありませんが、餅つき大会が好きな人が多くて、各地区で餅つき大会を開催すると大勢の人が集まっています。焼山公園では、例年どんど焼きというのを地元の方がやっていて、ここでも大餅つき大会をやって、大盛況でした。火を扱うのは危険だからやめるという意見もでましたが、伝統を大切にし、今年は形を変えて、別のことをやろうと思っています。

（区長） 令和４年９月の区民会議分科会で植田北学区から「若者が積極的に参加したくなるようなイベントを開催することが大事で、例えば『だんじり』を設えるというのはどうか」と具体的なご提案が出されたのがすごく印象的でした。

（植田北） 若い人からご年配の方まで繋がれるのは祭りだと思っています。ただ、新興学区なので、人が上手く集まらないというのが課題です。町内対抗だんじり祭りをして、ぶつかりあいたい人達でやると面白いかなと思っています。

（植田東） うちも見どころがあまりなく困っているというのが正直なところです。以前、学区の役員で学区の資源や魅力について話をしたときに、上がったのは天白川だったのです。天白川がもっと皆が集えるような場所になると良いねということで、環境部会で環境整備をやっていこうと動き出しています。これから天白川の河川整備も入ってくるので、開かれた明るい空間に変わっていくと良いなと思います。また、植田東学区にはコミュニティセンターがなく、人が集えるところがありません。そのため、夏祭りと運動会は学区の２大行事として、皆が集えるような企画を考えて開催しています。今年の夏祭りは 2,000 人が集まりました。そういった行事をきっかけに地域の活動にも関心を持ってもらえると嬉しいです。

（区長） 植田東学区の今年の夏祭りに私もお伺いしましたが、たくさんの方が来られて大盛況でしたね。それと今年、天白川のビオトープを中心としたエリアを「クリーンキャンペーン」の会場に設定して頂いたこともとても印象的でした。

（植田北） 学区として、天白川を何とかしていきたいという思いがあって、関心を持ってもらうために皆で掃除しましょうとなりました。

（植田南） ３月には植田南・植田北・植田東学区の３学区で天白川の清掃活動を行います。

（区長） 昔ながらの「餅つき大会」など、各学区の皆さんが日頃から慣れ親しまれている事象にスポットを当て、人と人とのつながりを生み出すイベントなどを展開することがとても良い結果につながるということですね。

学区運営にかける思い

（植田東） 住んでいる人たちは財産だと思っています。人と人とがどんどん繋がっていくと良いなと思います。植田東学区の特性として、市が出している指標を見ると、区の中で人口密度が一番高く、15 歳未満の割合は天白区で一番高く、そして全市でも 14 番目に高いです。比較的、若い人が多くて新しい学区です。この若い人たちが、少しずつでいいので地域の活動に興味を持って、その活動に参加してもらえるような仕組み作りができたらなと思っています。部会が 10 個あり、それぞれの活動を活性化していくことに力を入れて取り組んでいます。

（区長） 防災部会もそうですね。地区防災計画は全市的にみても植田東学区を含む２学区しかなく、植田東学区は、その１つですからね。

（植田北） 地域活動のモチベーションをもっと上げていきたいです。理想は、「明日学区の会議があるから楽しみで今日は眠れない」と思うくらい。どうしたらそれに近づけるかなということを考えています。出席するのが当たり前と思わず、来てくれた人をもてなすという気持ちでいたいと。モチベーションがぐっと上がることがないと上手くいかないと思っているので、皆さんが楽しく参加してくれるかということを考えています。

（植田南） 学区の防災訓練の時も各種団体の長が地区本部委員となり、手薄なところは人を呼んできてくれるなど、自分たちで判断して動いてくれるのはありがたいです。参加者も親子連れやご高齢の夫婦など、初めてのお顔の方もみえて、関心があれば来てくれるということを感じました。こういう方々に学区運営にも参加してもらいたいと思っています。やりたいことだけで良いので関わってもらって、ひとり一役でいろんな方が関わる運営ができたら良いなと思います。

（植田） 植田学区で今動き始めているのが防災部会です。広報部会も瓦版を出すなど、今まで、あまり機能してこなかった部会が少しずつ動き出しています。防災部会は４年活動していて、コミュニティセンターを使って１日避難所訓練をやったりしています。コミュニティセンターで楽しいことが色々できたり、それから公園を皆さんが安心して集える場所にしたいと考えています。植田川沿いには整備がされていない公園もあって、そこを綺麗にして、皆が集える場所にできればと思っています。

（植田東） 部会があるけど機能していないというのは植田東も同じでした。予算の割り振り方について、提案事業という仕組みを作り、人の交流に繋がる事業を対象に、部会や団体に補助金を出すことにしました。子ども会の祭りやソフトボール大会なども、それによって家族が集まり、地域の交流に繋がります。

（区長） 学区に係る様々な団体の主体的な参加を促す取り組みや地域住民同士の交流に有効な取り組みに補助を行うなど、積極的に工夫することがとても重要ということですね。

この次の５０年に向けて地域の子どもたちに伝えたいこと

（植田南） 地域の皆さんが、あなたたちを見守っていますよ、ということを伝えたいです。それは 50 年経っても変わりませんという姿勢で、子どもたちと接していこうと思います。それから、今気になっているのは細口池公園にできたインクルーシブ公園です。障害がある子もない子も大人も使えて皆さんが楽しめるインクルーシブな公園が１つできると大きい。知らない方も多いので、もっと存在を広めて、障害がある子もない子も大人も使えて皆が楽しめるインクルーシブな公園を未来の子どもたちのために作れたら良いなと思います。コロナ禍でずっと閉じこもっていた子どもたちが、また外で遊ぶことが増えてきました。だから遊具などの楽しい魅力がつまった公園ができたら、もっと子どもたちが外で交流する機会が増えるのかなと思います。

（区長） 現在策定中の第２期天白区将来ビジョンにおいて、新たに「まちづくりの考え方」の項を起こし、細口池公園での取り組みをきっかけに「インクルーシブな共同体」との表現で、誰もが分け隔てられることのないまちづくりを目指すことを鮮明にしました。区の魅力的なスポットとして、積極的に PR を行ってまいります。

（植田北） 若い人が地元から出て行って帰ってこない地域だと感じています。加えて単身の高齢者が増えていて、空き家も増えてきています。ふるさと感があまり無いからだろうなと思うので、地元を好きになって戻ってきたくなるような学区にしたいと思っています。「植北っ鼓」という植田八幡宮で練習している奉納太鼓のグループがあります。植田北小学校の児童たちを中心に活動していて、地域でやりたいことをやっている子どもたちは多分地元に残るのではないか、と思いました。自分の地元に愛着を持ち、戻っ

てきたいと思えるような学区にしていきたいと思っています。

（植田東） 植田北学区も言われたように、子どもたちが戻ってきたくなるような学区にしていきたいです。住みやすいということだけでなく、友達がいる、興味のあることでグループができて、子ども達が戻ってきたくなるような学区にしていきたいです。今、学区で一番人口が多いのが50 代くらいの世代です。その世代の子ども達がちょうど成人になって、その人たちに地域の活動に参加してもらえるような仕掛けが何かできないかなという話をしています。

（区長） 植田東学区の、今年数え１００歳を迎えられた方のご長寿のお祝いに、ご自宅を訪問させていただきました。植田東学区ができた平成２１年以前から、この地に住まわれており、「最初の頃は、周りに何もなかったのに、今は住宅が立ち並びにぎやかになった。」と、教えて頂きました。

（植田東） 私も 36 年前に引っ越してきたときは、家から原の辺りまで建物が何にもありませんでした。原駅から帰る時に周りが真っ暗なのでつまずいて転びかけて、家の２階から名古屋港の花火が見えました。それがここ 30 年の間にどんどんと家が建って人が住むようになりました。子ども会やＰＴＡも頑張ってくれているので、子どもの時に楽しい思い出を作って、育った町に戻りたいなと思ってくれたらいいなと思います。

（植田） 学区というのは「品格」が大事だと思います。街に良い資源があるのに、ゴミだらけの街では「品格」があるとはいえません。そのことを子どもたちにきちんと教えていけるように、親の「立ち居振る舞い」も大事です。例えば、「公園を日常的にきれいにしておく」といった基本的なことを子どもたちを含め、地域でやっていけると良いと思います。

（区長） 植田南学区のクリスマスツリー「もみ太」のイルミネーション点灯式に参加させて頂いた折、ステージに立たれた学区の方が子どもたちに優しく語りかけられ、みんな満面の笑みで大きな声で応えていたのが、印象的でした。子どもたちを地域全体で守り育てる姿勢を持つことの大切さを体感した瞬間でした。まさに、今おっしゃった学区の「品格」とは、こういうことではないかと思います。

（植田南） この前、朝の交通当番で立っていたとき、横断歩道で信号が点滅した時に先頭にいた高学年の子がパッと止まったんです。どうしたの？と聞くと、１年生が少し離れた後ろにいたから渡るのをやめておいたと。先生に言われたの？と尋ねると、先生からちゃんと １年生を見ておかないといけないって言われたと。そういった細かい指導をしてくれる先生も偉いなぁと思うし、その場で自分の判断ができる高学年の子にも関心しました。

（区長） 立ち止まった高学年のお子さんのように、地域の皆さんの子どもたちへの温もりに満ちた行動がまちに溢れ、その体験が子どもたちの心に深く染みて、「ずっと住み続けたい」、「また戻ってきたい」、天白区の子どもたちみんながそう思う、そんなまちになるといいなと思います。今日はお忙しい中ありがとうございました。

谷澤区政部長　水野区長

植田学区 服部委員長　植田南学区 太田委員長　植田北学区 稲垣委員長　植田東学区 石原委員長